

すごいぞ石垣島🦅美味しいぞ石垣島🍍🍖



1日目

中山義隆石垣市長にインタビュー🎤

Q.中山市長が思う、石垣島の魅力は何ですか？

A.「町から出ると、山川海の豊かな自然があり、自然を楽しめる」とおっしゃっていました。

僕は外で遊ぶのが好きなので、豊かな自然がたくさんある石垣島がうらやましいです。

2日目

循環型6次産業を学ぼう📖

「やえやまファーム」さんは、循環型農業をしています。自社で栽培したパイナップルでパイナップルジュースを作り、そのパイナップルの搾りカスを豚の肥料に使用します。豚に搾りカスを餌として与えて豚の糞尿を牧草地の肥料として使うことで、質の良い牧草になり、それを餌に牛を育てています。次に牛から出た糞を発酵させてパイナップルの肥料に使用しています。島田社長やスタッフの人たちの努力が、美味しい牛肉や豚肉、パイナップルになります。



3日目

お米の二期作を学ぼう📖

石垣島の「みやぎ米屋」さんでは、田んぼ約140枚を使って、お米を年に2回収穫できる二期作(田植2月と8月、稲刈6月と11月)を行っています。年間を通じて暖かいので二期作ができます。しかし真夏の気温35℃での田植えや実りの時期の台風、暑過ぎてお米が白くにごってしまう高温障害と大変な事も多いです。

石垣島の米農家さんは、10年前と比べると半分の人が減って、今では約70人ぐらいです。「みやぎ米屋」さんは、ドローンやAIも使います。毎日当たり前に食べているごはんですが、米農家さんが、たくさん苦労して収穫されたお米です。ごはんの時には、手を合わせて「いただきます」「ごちそうさまでした」と、感謝の気持ちを忘れずに言うようにしたいと思います。



＼沖縄県石垣市の／

特派員おすすめスポット

県営バナナ公園「エメラルドの海を見る展望台」付近で、運が良ければ、国の特別天然記念物に指定されている絶滅危惧種「カンムリワシ🦅」が見られるかも!!
僕たち「こども特派員」は、運良く見ることができました!!



＼皆さんに伝えたいこと／

石垣島は海も空も山もキレイな、本当に自然が豊かな島で、海の幸や山の幸、たくさんの美味しい物があります。皆さん機会があれば、ぜひ石垣島に行ってみてください🌊



石垣市の環境にやさしい農業①

循環型6次産業って何？

やえやまファームでは循環型6次産業化の実現を目指して、パイナップルの栽培や牛や豚の飼育をしています。6次産業化とは農家(1次産業)が地域資源を活用して、製造・加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)の事業を総合的に推進する取り組みです。



パイナップルの栽培

畑で栽培したジュース用のパイナップルの収穫をしました。1回に10万個の株を植え付けるそうです。この畑では農薬を減らしているの、害虫や草取りの管理が大変だということを知りました。



ばいぬふた 南め豚の生産

パイナップルをジュースにした後の搾りかすを発酵させたものを餌として与えています。こうすることで捨てるものをなくせることを知りました。この餌は甘酸っぱい香りがして豚は喜んで食べていました。



石垣牛の生産

石垣牛の餌になる牧草は、南め豚のフンを肥料にしたものを使って栽培しています。石垣市は冬でも暖かいので1年を通して牧草が穫れる(年5回) ことを知りました。東京ドーム約8個分の広さの青々とした牧草地に驚きました。



石垣市の環境にやさしい農業②



2期作の米作り

暖かい石垣市では年に2回米作り(2期作)が行われています。

真夏の米作りには

- ・ お米が実る時期と台風が重なる
 - ・ 暑さでお米が白く濁ってしまう
- という課題があることを知りました。

島の米作りを守るスマート農業

みやぎ米屋株式会社では、農薬を減らした米作りを行っています。農家の数が減っている中で、米作りを守るために、140枚の田んぼを衛星写真データやドローンなど(スマート農業)を使って管理していることを知りました。



石垣市長を表敬訪問

石垣市の中山市長を表敬訪問し、市の産業について説明をしてもらいました。

市長に観光客が増えて良かったこと困っていることを聞きました。良かったことは島全体が豊かになること、困っていることはゴミの処理と水の不足と答えてくれました。

自然や文化を守りながら、豊かな島を作っていることが分かりました。

＼沖縄県石垣市の／

特派員おすすめスポット

宮良川のマングローブ林

自然たくさんのマングローブ林の中をカヤックで冒険できる!!
林の中からは鳥の鳴き声も聞えます。



＼皆さんに伝えたいこと／

普段私たちが当たり前食べている農作物は、たくさんの農家の苦労が積み重なってできています。

地域の農業を守っていくために私たちができることは、農家が農業を続けられる正しい価格で買うことだと思います。



みんなもい ってみて🕶️



石垣島はなんと一年に2回
お米を栽培する二期作で日
本で一番早く作る超早場米
があります。そして石垣島
の人口は約50,000人で米
農家は70人らしいです。
10年前はこれの倍いたら
しいです(米農家)。なぜ減
ったかというと農業のいな
い手が減って高齢化が進ん
で若い人がやってくれない
という理由だそうです。

なんと石垣市の、中山市長にイン
タビューをしました。
(取材側)石垣島は亜熱帯気候です
が亜熱帯気候でしかできないこと
は？
(市長)亜熱帯気候は牧草が多く取
れ牛がとても飼いやすいそしてそ
の子牛をいろんなところに配ると神
戸牛になったりブランド牛になる
そうですそしてこっちでも育てて
みようとなって石垣牛ができ2000
の九州サミットで出されて美味し
いとなって有名になりました

石垣農業

2026
8/4～8/6

次はパイナップルの収穫に行きましたそしてきてた
みんな一生懸命パイナップルを探してました。それで
大きくて熟してるのをもらいました。そのあとみん
なでBBQして食後にそのパイナップルを使ったジュ
ースやジュレを食べましたそのあとお土産屋さんに行
くとそのジュレとジュースがあってびっくりしました



絶滅危惧種のカムリワシ発見!!!



なんと展望台の下に行くとカム
リワシという絶滅危惧種だっ
た鳥と出会いましたそれで写真
も撮り奇跡でしたガイドさんも
石垣島にずっといてるのにも4回
目でびっくりしている様子でし
た



牧場編



さっきのパイナップルのジュース作る時には搾りかすがてできてその搾りすすを豚の餌にして豚のフンを発酵させて牛のフンにしてその牛のフンも発酵させてそれをパイナップルの土にする循環型農業をしているそうですちょうど子牛の名前を決めるときで泉大津ちゃんとなりましたその後ミルクを作ってあげました



カヤック編



次はカヤックに行きましたお母さんが肩が痛いのであまりできなくてつないでもらいました、その時クイズがありました、それでびっくりしたのが星空認定区域？みたいなで星が綺麗らしいです

沖縄の石垣島の魅力をしよう！

1,



1,お店 あじ彩石垣島の沖縄名物！

2,牛や豚について！

1,1日目は、沖縄に来てすぐソーキそばなどのお肉がじゅーしーでおいしかった！そばは普通のそばと違って麺がラーメンみたいでつるだった、他にも石垣島で取れた天然もずくなど食べました！！おいしかったです🌺🐷

2,



2,ぶたはパインアップルの残りの実を加えて作ったえさなどを食べることがわかりました！また牛はみんな体温が高くて、38.5から9.5ということを知りました！！この体験は豚や牛にも命があるからちゃんと感謝して[いただきます][ごちそうさまでした]を言おう！と言う気持ちになりました！🎀🐷

川でカヤックが楽しめる！🧊



石垣島でカヤックをしてみて、海に近いから風が吹いてとっても涼しいので行ってみてください！🌿



実際の写真は顔が見えないけど
本当はこんな顔だよ🐦

＼皆さんに伝えたいこと／

石垣島にしかない【カンムリワシ】

このカンムリワシは島に約110羽しかいない天然絶滅動物で、現地に住んでいる人も人生に1~2回みたことあるかないか程度です。私達は石垣島で運良く木に止まっていました！！約110羽しかいないのであったらいいことがありそうでワクワクしています♪ぜひ石垣島にきて【カンムリワシ】を探してはいかがでしょうか！！

＼沖縄県石垣市の／

特派員おすすめスポット

ここはとっても風が涼しくて、海も山も見えて、自然が溢れているところなのでぜひ行ってみてください！！



自然豊かな石垣島No.1

1日目 石垣市長にインタビュー！

石垣島の市長にインタビューをしてきました。まず、人生で初めての名刺交換をしました。その後、市長から石垣島の今の問題点を質問しました。石垣島の今の問題点は、水不足だそうです。周りが海に囲まれている石垣島では海水を生活用水や飲料水などに処理する取り組みをしていました。しかし観光産業が盛んで観光客が増え今までの設備では処理が追いつかなくなってきたため、今後浄水場、下水処理場の拡大を計画しているそうです。



2日目 循環型農業とは？？

なぜ八重山ファームさんは循環型農業に力を入れているのか皆さんは知っていますか？？理由は沖縄本島と比べると島の面積が小さくゴミ処理場がないため、ゴミをフェリーで沖縄本島まで運ばないといけません。その為、ゴミを処分することにコストや手間がかかってしまうからです。

八重山ファームさんで行っている循環型農業について説明します。パイナップルを加工した際に出る搾りカスを発酵させます。それを豚さんの餌にします。そして豚さんのフンを発酵させます。それが牧草の肥料になります。その牧草を牛さんが食べます。牛さんのフンを発酵させて堆肥にします。その堆肥はパイナップル畑で使用されています。このように最大限に資源を活かしながら循環型農業を行っています。



自然豊かな石垣島No.2

2日目 2年の愛情をかけたパイナップル

今回、八重山ファームさんのパイナップルの収穫体験をさせていただきました。八重山ファームでは、その土地の赤土や気候を活かしてジュースに適したパイナップルを育てています。パイナップルは植え付けから収穫まで2年かかります。育てる上で一番大変なのは、除草作業だそうです。実際に畑に行き収穫体験をさせてもらいましたが影がない斜面にある畑での作業が大変か実感しました。最後に実際収穫したものを食べさせてもらいその味は私が今まで食べてきたパイナップルの中で酸味が少なく、かじるたびに果汁が滴り落ちてきてとてもおいしかったです。



2日目 『いただきます』の大切さ

今回、八重山ファームさんの豚舎と牛舎を社長さんに説明してもらいながら、普段は関係者以外立ち入り禁止のところに入らせていただき、見学やお仕事体験させてもらいました。豚さんにおやつをあげたり、子牛にミルクをあげてすごいかわいかったです。だけど、それと同時に家畜はペットではないんだという現実を突きつけられました。命を扱う仕事の重さをリアルに体験させていただけたこと、感謝しました。普段私たちが食べているお肉はただの「お肉」ではなく「一つの命」です。今まで以上に「いただきます」を大切にしていきたいと思います。



自然豊かな石垣島No.3

3日目

石垣島だから出来るお米の二期作

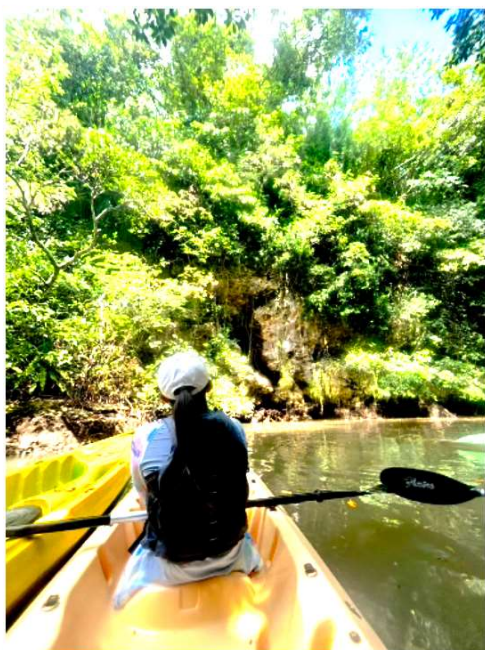
今回は石垣島で一番大きな米農家のみやぎ米農家さんに取材させていただきました。みやぎ米農家さんではお米の二期作を行っています。二期作とは、一年に2回田植えと収穫を行う農業のことです。冬でも平均気温が18度の石垣島の気候だからこそできる農業方法です。しかし、二期作にはデメリットもあります。一番のデメリットはお米が実る時期に来る大きな台風です。それでも二期作を行うのは、少しでも収穫量を増やして販売することで、田んぼを守ることにつながるからです。存続していくことが大変な農業だけど、日本のお米文化を守っていくために頑張りたいと思いました。

石垣島と泉大津、田植えはこんなにちがう



＼沖縄県石垣市の／

特派員おすすめスポット



私のおすすめスポットは、宮良川でのカヌー体験です。自分でカヌーを漕ぎながらマングローブの森を堪能できます。カヌーが初めての人でも、ガイドさんが優しく丁寧に教えてくれたので安心して楽しめます！是非一度体験してみてください。

＼皆さんに伝えたいこと／

普段自分たちでいく旅行では、体験できないようなことを体験させていただきありがとうございます。泉大津市が目標にしている「医食同源」を実現していく為には、たくさん大変なことがあっても消費者のために美味しいものを届けてくれる農業や畜産業の方達が必要です。その方達にこれからも感謝していきたいです。